



## 映画会のお誘い

2011. 3. 11東日本大震災により福島第1原子力発電所がメルトダウンして、大量の放射性物質が漏れ、未だに収束の目途が立たない状況です。原発事故とその影響を描いたドイツ映画を観て、原発のあり方を一緒に考えたいと思います。お誘い合わせて、ぜひ、ご来場ください！

# みえない雲



7月17日(日)19時上映 (18時30分開場)

柳沢公民館視聴覚室

入場無料

ドイツ バイエルン州の原子力発電所で起こった  
架空の放射能漏れ事故とその後の被曝者の体験の物語。  
グレゴール・シュニツラー監督 2006年ドイツ映画(103分)



原作の小説は、作家グードルン・バウゼヴァングにより、1986年のチェルノブイリ原発事故の翌年1987年に発表された。反核運動の精神から、ティーンエイジャー向けに、原子力エネルギー問題と危険性を示すために書かれたもので、反響を呼んだ。ドイツだけで150万部販売され、ドイツやベルギーの学校の国語教材として用いられるようになった。世界13カ国で翻訳出版。日本語訳は1987年に「見えない雲」(2006年に「みえない雲」に改題)として出版された。ドイツ児童文学賞受賞。

2006年につくられた映画は、原子力発電所の名前も変えられ、小説とは別の結末となっている。ドイツ映画賞最優秀青少年向け青春映画にノミネート(2007年)。

主演女優のパウラ・カレンベルクは、ドイツ出身。チェルノブイリ原子力発電所事故の時に胎児であった。1986年11月に誕生後、心臓に穴が開いていること、片方の肺がないことが判明した。

主催 市民自治井戸端会議

連絡先:柳田 Tel/Fax 042-461-3246 阿部(夜間)Tel 042-424-3410